

世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議（第8回） 会議記録

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 平成29年2月17日（金） 11時00分～11時40分 |
| 出席者 | 会長（市長）、副会長（副市長）、委員（横田防災危機管理局長、中田市民経済局長、山本環境局長、杉山健康福祉局長、佐藤子ども青少年局長、黒田住宅都市局長、三輪緑政土木局長、山田天白区長）、委員代理（柵木観光文化交流局ナゴヤ魅力向上担当部長、豊島消防局総務部長）始め 計19名 |
| 発言者 | 内 容 |
| 事務局 | <p>ただいまより、『世界の「AIOIYAMA」プロジェクト』第8回検討会議を開催します。</p> <p>本日は、お忙しい中検討会議にお集まりいただき、誠にありがとうございます。本日は時間も限られていますので、会議の進行にご協力いただきたいと思います。また、この会議の取扱い及び情報公開については、前回と同様の取扱いとしますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、要綱の規定により、この会議の会長を市長にお願いしていますので、ここからの進行は、市長どうぞよろしくお願ひします。</p> |
| 会長 | <p>これまで、『世界の「AIOIYAMA」プロジェクト』として、私の構想の実現に向けて鋭意検討を進めてもらっている。昨年11月の前回会議では、各作業部会の検討状況や、来年度予算の要求方針などについて確認を行った。その後、予算編成作業を経て、現在、予算案としてプロジェクト全体で2,550万円を計上している。そこで、今回は、平成28年度の検討内容と、予算案を踏まえた平成29年度の検討予定を確認したい。</p> <p>それでは、事務局から資料の説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>それでは、議題1の「平成28年度の検討内容」および議題2の「平成29年度の検討予定」について、資料1から5を用いてまとめて説明したいと思います。</p> <p>まず、資料1です。平成28年度の検討内容と平成29年度の検討予定について概略を示しています。右側の欄が平成29年度の検討予定です。</p> <p>一番上段の道路事業廃止作業部会の内容ですが、道路ネットワーク機能の確保及び防災機能の確保の面からそれぞれの代替案を作成するというこゝとで、1,300万円の予算案を計上しています。中段、緑地整備案の検討ですが、基本計画素案の作成と住民、市民の皆様からのアンケート等を行って意見聴取をするということで、260万円の予算案を計上しています。入り込み交通対策ですが、山根学区交通対策協議会を開催して協議し、来年度も対策工事及び検証を続けていくという予定で、990万円の予算案を計上しています。</p> |

| | |
|-------------------------|--|
| <p>道路事業廃止 作業部会長</p> | <p>続いて、次ページ資料2です。これまでも示しているものですが、各作業部会の検討フローです。赤色の破線で示しているところが平成27年度、28年度の検討内容です。青色の破線が平成29年度の検討予定です。</p> <p>一番上段の道路ネットワーク機能の確保及び防災機能の確保の検討ですが、それぞれの代替案の作成までを平成29年度に検討する予定です。その後も引き続き検討を進めていきますが、各機能の統合・検証までを平成30年度を目途に検討していきたいと考えています。</p> <p>中段の緑地整備案の検討ですが、これまで基本計画素案などの検討を続けていました。平成29年度は、引き続き基本計画素案の作成を進めていくということと、市民からの意見聴取に入っていく予定をしています。今後の予定ですが、基本計画の策定までを平成30年度を目途にがんばっていききたいと考えています。</p> <p>一番下段、入り込み交通対策です。こちらは、今年度も地元の協議会と相談しながら交通対策を実施してきました。今後も引き続き協議会で協議しまして、対策を続けていく予定をしています。</p> <p>では、資料3から5を用いて作業部会長からさらに詳しく説明します。</p> <p>道路事業廃止作業部会、部会長の鈴木です。よろしく申し上げます。</p> <p>当部会では、道路事業を廃止するため、道路ネットワーク機能の確保と防災機能の確保について検討を進めています。</p> <p>道路事業廃止に向けた全体の流れとしては、弥富相生山線周辺の現在の交通状況を詳細に調査し、交通課題をしっかりと把握したうえで、この課題を解決するための対策案を作成していきます。また、各種交通調査の結果を用いて将来交通量推計を行い、対策案の効果を確認して代替案として取りまとめていきます。そして、さらに防災機能を確保するための代替案との統合と検証を行った後に、地元の方々との調整や警察など関係機関と協議を行い、都市計画変更の原案として固めていくという流れになります。</p> <p>それでは、平成28年度の検討内容と29年度の検討予定についてご説明します。</p> <p>資料1の上段と資料3をご覧ください。まず、これまでの検討内容についてですが、道路ネットワーク機能の確保に向けて、昨年6月14日に交差点交通、渋滞状況、道路構造、平均速度といった各種交通調査を実施しました。そして、その結果の集計と分析を行っています。</p> <p>その結果については、先の検討会議でご報告しましたが、島田交差点、野並交差点を中心としたエリアで混雑や渋滞などの交通課題が、確認されたところでした。現在は、こうした課題を解決するための対策素案について検討を進めています。</p> <p>次に、防災機能の確保についてです。弥富相生山線は名古屋市地域防災計画で避難路に指定されていますので、これまで弥富相生山線が担う予定であった防災機能について確認と整理を進めてきました。その結果、災害時</p> |
|-------------------------|--|

の避難のための経路や避難のための安全性の高い空間、消火活動場所、さらには救急車などの緊急車両が通行するための経路としての機能を確保する必要性を確認したところです。現在は、緑地整備作業部会との調整を図りながら、機能確保に関する検討をさらに進めているところです。

続いて、平成29年度の検討予定についてです。

資料1の上段右側をご覧ください。道路ネットワーク機能の確保に向け、来年度は、島田交差点、野並交差点を中心としたエリアで把握した交通課題を解決するための、具体的な対策案を作成していきます。また同時に、平成28年度に実施した各種交通調査の結果を用いて、10年後20年後の将来交通量推計を行います。そして、作成した対策案を将来交通量に照らして効果を確認し、弥富相生山線が担う予定であった道路ネットワーク機能の代替案として取りまとめていきます。

また、防災機能の確保については、先ほど申し上げた災害時の避難のための経路や避難のための安全性の高い空間、消火活動場所などの機能を別途確保するための代替案を作成していきます。この代替案の作成にあたっては、緑地整備作業部会が検討を進めている相生山緑地の基本計画素案との整合を図りながら進めていきたいと考えております。

以上、これらの検討を進めるとともにそれぞれの代替案を作成していく経費として、1,300万円の予算案を計上しているところです。

道路事業廃止作業部会からの報告は以上です。よろしく申し上げます。

緑地整備作業
部会長

緑地整備作業部会、部会長の今西です。

当部会においては、これまで作業部会を12回開催し、緑地整備案の検討を進めてきました。緑地整備作業部会の検討状況については資料4をご覧くださいと思います。

赤線で囲ったところが平成27、28年度の検討内容です。青色の破線で囲っているところが平成29年度の検討予定となっています。詳しくは資料1の平成28年度の検討内容及び平成29年度の検討予定でご説明しますので、資料1も併せてご覧ください。

まず、平成28年度については、緑地整備案の検討として前提条件の整理、事例調査、基本計画素案の作成そして意見聴取方法の検討に取り組んできました。

前提条件の整理については、平成27年度に引き続き進めてきましたが、動物の生息状況や植物の分布状況等を既往の調査結果や現地調査により整理を行い、概ね全体を取りまとめたところです。また事例調査では、自然環境を保全活用した公園、障害者のリハビリや活動の場、キャンプ場、建設済みの道路部分の活用について、平成27年度に選定した調査項目全てでそれぞれ調査を行い、取りまとめたところです。そして、これらを踏まえて、基本計画素案の作成に着手し、基本方針及び配置計画について整理を進めています。

| | |
|------------------|--|
| | <p>また、意見聴取方法の検討については、市長からいただいた資料を含め、市民意見の聴取に係る手法を整理し、実施時期や方法について検討しています。</p> <p>続いて、資料1の中段右側ですが、平成29年度の予定です。</p> <p>引き続き基本計画素案の作成に取り組み、動線計画及び施設計画を検討していきます。そして、相生山緑地全体の計画図及びイメージパースを作成し、基本計画素案として取りまとめていく予定です。</p> <p>また意見聴取については、平成29年度、相生山緑地の整備について市民を対象としたアンケートを実施するとともに、地域の皆様や各種団体の方々を対象とした説明会の実施内容についても併せて検討を進めていきたいと考えています。</p> <p>緑地整備作業部会からの報告は以上です。よろしく申し上げます。</p> |
| <p>交通対策作業部会長</p> | <p>続いて、交通対策作業部会から説明します。部会長の平尾です。</p> <p>当部会においては、これまで13回の会議を開催し、弥富相生山線の近隣住宅地への通過自動車の入り込み交通対策について検討を進めています。</p> <p>お手元の資料1下段と資料5をご覧ください。</p> <p>まず始めに、これまでの検討内容についてご説明します。昨年度、地元と山根学区交通対策協議会を設置し、アンケートを実施するなどして、広くご意見をいただきながら具体的な対策を検討してきました。</p> <p>今年度については、対策範囲の入口や交差点を明確にするカラー化などの注意喚起対策を実施しました。また、対策の効果を検証するため、工事の前後の交通量などを調査しました。その結果、交通ルールを守る車両は増え、安全性は高まりましたが、地区内を通過する交通量はあまり変化が見られませんでした。従って、さらなる対策を協議会において検討してきました。</p> <p>続いて、平成29年度の検討予定について説明します。平成29年度については、主な抜け道ルートにおいて車両の速度抑制対策を実施していきたいと考えています。これによって、歩行者や自転車の安全性の向上と入り込み車両を減らす効果を期待していきます。</p> <p>資料5の右側をご覧ください。具体的な対策としては、双子池前の広い車道には歩道を設置し、山根小学校の南側には、下段の中央の写真のように車道にポールを立て、部分的に道幅を狭くする狭さくを設置したいと考えています。また、その隣の曲線部には防護柵を設置していきたいと考えています。来年度の対策に要する経費については、対策の効果検証に要する費用も含め、990万円の予算案を計上しているところです。</p> <p>交通対策作業部会からの報告は以上です。よろしく申し上げます。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>資料の説明は以上です。市長にお返しします。</p> |

| | |
|-----------|---|
| 会長 | それでは、これより意見交換に移る。議題1について発言をしたい方は挙手をお願いします。 |
| 副会長 | はい。入り込み交通対策は毎年このようにいろいろ工夫しながら実施するが、ずっと続けていくという考え方なのか。 |
| 交通対策作業部会長 | ずっと続けていくというわけではありませんが、やれるところからやります。道幅を狭くするという方法は交通の規制がかかることですし、走行しづらくする対策ですので、地元の人と丁寧に協議しながら、できるだけ効果を発揮できるような対策にしていきたいと考えています。 |
| 副会長 | 先程、平成28年度の対策はあまり効果はなかったと言っていたが。 |
| 交通対策作業部会長 | 安全性は高まりました。しかし、交差点で停まる車両の数は増えていますが、通過交通の量はなかなか減らなかったものですから、通過交通に対して走行しづらくする形のことをやっていきたいです。 |
| 副会長 | あと、その対策に対する地元の反応はどのような感じなのか。 |
| 交通対策作業部会長 | 地元の人には、対策をやっているということに対して非常に喜んでいただいています。 |
| 副会長 | 天白区長、そのとおりか。 |
| 山田委員 | <p>地元の方と丁寧にお話いただいていますので、それは地元の方からも大変評価いただいていると思います。ただ、今説明があったように、通過交通の量自体が減っているわけではないので、やはり子ども達の通学の時間などの心配をされています。</p> <p>来年度、具体的な防護柵などの対策がありますので、そのようなところを期待して、通過交通の量が減ることを期待して、しっかり検証していただきたいと思います。</p> |
| 副会長 | 山根学区交通対策協議会には、区役所の職員も入っているのか。 |
| 山田委員 | 入っています。 |
| 副会長 | それから、この全体のフロー図の真ん中にようやく近づいてくる状況だが、平成30年度に段々右の方に進んで到達点はどうなるとか、全体のスケジュールはどのようなものなのか。 |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>平成 30 年度の到達地点としては、先ほど説明したとおりです。例えば道路ネットワーク機能の確保と防災機能の確保という点ですと、各機能の統合・検証までを平成 30 年度までに何とかしたいと考えています。しかし、その後、関係住民の方との調整になってきますと、これまで説明会等を行っていますが、やはり相当な混乱が予想されるということもあり、時期を見通すのがなかなか難しいと考えています。そのため、その部分をできるだけ頑張って期間を短縮したいと考えていますが、そのような事情もあるため、申し訳ありませんが、資料には期間を示せないという状況です。</p> |
| 副会長 | <p>その進捗の速さについて、議会や関係団体の方からどのようなご意見があるのか。もっと早くやれ、いつまでやるんだとか、ゆっくりやれとか、緑政土木局に寄せられている意見を教えてほしい。</p> |
| 事務局 | <p>議会からは、具体的にいつまでというご意見をいただいているわけではありませんが、できるだけ急いでというご意見はいただいています。それから、地元については、具体的にいつまでということはやはり言われてはいません。ただ、市民団体からいただいている要望書等において、できるだけ早く道路事業廃止の都市計画変更をしてほしいというご要望をいただいているという状況です。</p> |
| 副会長 | <p>それらのご意見などに対して、このようなフロー図を見せて、現状や、着実というか丁寧に進めていますという答弁をしているということか。</p> |
| 事務局 | <p>はい、そのように説明しています。</p> |
| 会長 | <p>私からも言わせてもらおうと、入り込み交通対策は、当初、地元の区政協力委員長さんと大変丁寧にやりますと約束している。子どもさん達の安全などもあるので丁寧に進めてもらっているが、この資料を見ていると、この平成 29 年度の予定では速度抑制対策工事を施工するということだが、施工はそれだけで、その上の段は協議するという事になっている。古出来町の事を何度も言うが、ナゴヤドームができた時に一部の周辺の道路を通行禁止にし、地元住民はライセンスを見せると通過できるということを実施した。当たり前だが、地元の人しか走れないから通過問題は一度に無くなった。それからしばらくすると、ナゴヤドームがどうなったかわからないが、その通行禁止が全部無くなって、また今、たくさんの通過交通がある。やはりこのような通過交通対策はいろいろ丁寧にやらないといけないというのは自覚しているが、この資料を見ていると、新開副市長の話もそうだが、スピードを落とすことは成功していると言ってもいいかもしれないが、通過交通量はそれほど減っていない。それなら、右折禁止や一方通行</p> |

| | |
|-------------------|--|
| | <p>にすることや、ナゴヤドーム付近の古出来町のように通行禁止にするのはどうか。ただし、証明書を持っている地元は通過してもよいことにすればよい。そのような対策は、資料を読んでも読み取れないがよいのか。資料ではスピードをブロックするだけの対策になっている。</p> |
| <p>交通対策作業部会長</p> | <p>入口への規制などの手法も当然ありますが、今、地元の方といろいろお話しさせていただいている中で、やはりそこまでの対策を実施するよりも、まずはやれるところからやってもらえないかと言われており、規制をかける方法よりは入りにくくする構造をつくるか、まず物理的な対策というお言葉をいただいています。特に、小学校の南側のところを細くするとか、広いところ、走りやすそうな車道には歩道を付けて少し狭くすることでスピードを出させないような工夫をするとか、まずそのような対策からやってほしいと言われていいますので、先ほどゆっくりではないかと言われてましたが、一つずつ丁寧に進めていこうと思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>しかし、右折禁止や一方通行、進入禁止になったら通りにくいと地元も思うだろうが、今言ったように地元の人誰でも通過できる方法もあることは、言ってあげないとわからない。自分の体験から言うと、私はその方法が一番簡単で早いと思うが。一発で解決できる。通過交通がゼロになる。施工するのはこれだけか分からないが、これだけだとスピード抑制対策しかやらないように見える。「協議する」という方で、もう少し広く今言ったことも検討すると読めないことも無いが。実は簡単だが私はこちらが正攻法だと思う。本当に一発で対策が終わると思う。 他にどうか。</p> |
| <p>小島経営アドバイザー</p> | <p>いいですか。新開副市長がおっしゃったのとほぼ同じですが、工程表を作っていたいただきたい。工程表は、スケジュールが載らないと工程表と言いません。この資料は、平成27年度や28年度のものもすべて一緒にして作ってありますが、全体のフローと27年度からいつまでという目標年次があり、当初の工程は何年度までと、一応最後まで見通すことが必要です。それで、27年度、28年度の進捗状況について、当初の予定から見て遅れている、それとも早く進んでいるという評価をして、進捗調整をしながら次のステップに進んでいくことが必要だと思います。行政における事業の計画の一つですから、大体全体の時間や予算の見通しを立てて、それで進捗管理をするというのが当然のことだと思います。それをやっていただきたい。 先程、議会からはいつまでにとのご意見が無いということでしたが、そういうことではなく、仕事を始めていつまでに終わるかということ聞かれないからスケジュールを定めないということは、行政としてはおかしいと思います。いわゆる工程表というものは、フローと時間の概念があると</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>というのが当たり前。ついでに予算もあるのが当たり前。当たり前のことをやっていただきたいということです。</p> <p>工程表がないと、検討自体が自己目的化していると見られるわけです。それで、検討のための検討ということになってしまい、いつまで検討しているのかという話になります。そのため、仕事というのは、いつまでに終わらせるかという計画を立てます。もちろん、相手があるので計画通りにいかず変更ということはあります。こういう事情でここは時間がかかって変更したとか、こういう事情でここは早くできたとか。相手がいない部内だけでやっている検討は、いくらでも加速化できます。しかし、相手があるということは時間がかかります。だから、メリハリをつけて作業の工程管理をしていかないと、いつまででも時間がかかって、この仕事は終わらないということになると思います。</p> <p>しっかりと工程表で時間とお金の目途をたてて、そして進行管理をやってください。それで、早くできたら良いし、遅くできたら、なぜそれくらい時間がかかったのかという事をチェックしながらやる必要があります。だから、資料に時間が書いておらず、やるべきことをやっていない、工程表になっていない、という事が一番の問題かと思えます。大体今までの経験値がありますから、その経験値から、例えば資料2の都市計画の黄色のところに入ったら1年かかるとか半年かかるとか、という目途を立てられると思います。</p> <p>行政がある程度の目安を示さないと、そのような住民との調整というのは、いつまでもしゃべっているだけになり集約できません。ということもあり、行政が目途を示さないと元々意見の集約はできませんから、そのような工程管理は必要だと思えます。「意見を言って下さい。」とお願いしても、いつまでにこれをまとめるという目途がなければ、ただ意見を言ってほしいとずっと言っているだけになってしまいます。それは無責任だと思えます。それで、いつまでにとっても、議論がいろいろ百出してなかなかまとまらないかもしれませんが、期間を示さなければいつまでもまとまらないので、そのような仕事の工程管理はしっかりやっていただきたいということが私の意見です。</p> <p>いつまでやっているのですかと言われることはありませんか。普通、そう言われそうな気がしますが。</p> |
| 事務局 | <p>検討自体が遅いというご意見はいただいています。ただ、先ほども申しましたように、なかなか見通すことができないというご説明をさせていただいている状況です。それで、今いただきましたご意見については、やはりなかなか見通せない部分は確かにありますが、できるだけ目途は示していけるように検討していきたいと思えます。よろしくお願ひします。</p> |
| 小島経営アド | <p>では、お願ひします。公共事業も必ずできるわけではありません。それで</p> |

| | |
|-------------------|---|
| <p>バイザー</p> | <p>も、道路計画でもダム計画でも、いくらで何年度としてやっています。出来上がるのが、その目標年次から5年も10年も後になることもたくさんありますが。しかし私は、行政のやり方で目標年次を示さずに仕事をやるということは、あり得ないと思います。うまくいかない場合はあります。しかし、明日までとか今月末までという期限を示さずに仕事をやっておいってくださいというのにはあり得ません。これが仕事のやり方なので、きちんとそのようなものを作ってください。</p> |
| <p>副会長</p> | <p>いいですか。</p> |
| <p>会長</p> | <p>はい。</p> |
| <p>副会長</p> | <p>以上のアドバイスはすごく当然のことで、我々行政の方がスケジュールを示すことはおそらくできると思うが、進捗状況で期間が延びたり縮んだりすると思う。しかし、その時にやっぱり、これだけの大きなプロジェクトなので、例えば、オリンピックや、リニアなどの名古屋の今後の何か大きな目標のどのようなところで、このプロジェクトがどうなっていくのか。名古屋にこの後来るだろうポイントの所で、どのように成し遂げられるのか。それから、少しスケジュールが遅れた場合にどうだという何となくのストーリー性があるって、行政がその目標に向かってスケジュールを割り付けていって、それが実際は多少伸び縮みするというような、このプロジェクトを語れるようなスケジュールがあるとよい。今の小島アドバイザーのお話を検討するなら、このプロジェクトを語れるようなスケジュールというのか、これはこのように道路を止めて、それは名古屋の街の中でこんな意味付けがあるというような、名古屋の行政の大きなスケジュールの中にプロジェクトの進捗が話せるようにしてもらえるとよい。</p> |
| <p>小島経営アドバイザー</p> | <p>もう一ついいですか。私は今東京のことにも関わっていますが、オリンピックは戦後復興の時に開催しており、今回はパラリンピックのことをかなり前面に出していきます。パラリンピックの競技もこれから浸透させていこうというPRをします。それで、格差と段差を無くすということを今回東京で行っていますが、段差の方が障害者対策であるバリアフリーです。障害者対策の次は高齢者対策です。高齢化社会は、東京では2025年ぐらいからかなり進みます。パラリンピックで障害者対策を出して、高齢者対策が今後進んでいきます。</p> <p>そういう意味では、全体の人口が減っていく、需要が減っていく、車も若い人が乗らないということもあるかもしれませんが、全体に新車販売数も減っていきます。車の登録台数も減っていくという中で、高齢者が増えていく。それで、高齢者は免許を返せという話になり、自動運転がどこまでできるか分かりませんが、そのモビリティというか、人の移動性というも</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>のをどのように確保するかという議論がある。昔なら名古屋は道路があって車がたくさん通ってよかったということだったが、しかし、もう時代は変わっているので、マインドを変えてもらいたいということです。</p> <p>高齢者がたくさんいるという話と車がどんどん減っていくという中で街をどのように作っていくかちょっとお話をしましたが、歩道橋と地下道と階段を渡れない高齢者が増えていきます。それで、段々歩道橋などにもエスカレータやエレベータが付き始めていきます。しかし、それはすごくお金がかかることです。渋谷などでは全部の歩道橋についていますが、すごくお金がかかります。しかし、そのような社会になっていくわけです。それで、最初に、ここは障害者も渡れるとか、高齢者も渡れるというように世の中が変わっていき、そのように高齢者が増えていきます。障害者はその最初ですから、そのようなことを念頭において街を作っていただきたい。</p> <p>道路問題は大きいですし、モビリティをどうやって確保するかということはずごく大きな話です。駅や地下鉄ではだいぶできていると思いますが、普通に歩いていくところが問題です。それから、これから橋や道路やいろいろなものをメンテナンスしていくと思いますが、その改良やメンテナンスの工事の時に、高齢者がきちんと動けるようなメンテナンスの方向にしていくということや、同じものをメンテナンスして高齢者が歩けるようなものにしていくことが必要です。そのようなことを一斉に実施するのは難しいですが、課題解消の時にそれを加えてやっていくとか、そのように街全体を見て、その中で考えていただきたい。つまり、メンテナンス費用はすごく高額ですし、いつまでもお金があるわけではありませんので、ビルなどもそうですが、作ったお金よりも後の維持管理費用の方が高いという状況を考えて、そのようなアセットマネジメントをしっかりとやっていただきたいということです。</p> |
| 事務局 | <p>ありがとうございます。貴重なご意見をいただきましたので、検討したいと思います。</p> |
| 山田委員 | <p>一点だけいいですか。</p> |
| 会長 | <p>はい、どうぞ。</p> |
| 山田委員 | <p>道路事業廃止作業部会で、来年度、防災機能を確保するための代替案の作成という内容があります。緊急車両を通すことは地元住民の方にとっては安心安全の根幹のところですので、具体的な案を作成していただいていると思いますが、是非、それについても地元住民の声をお聞きいただければと要望します。</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>会長</p> | <p>はい、他にどうですか。 それでは、今いろいろな指摘があったので、しっかり受け止めて良い案を作してほしい。 次に、3つ目の議題の「その他について」だが、何か意見はあるか。よろしいか。 それでは、最後に事務局から次回の検討会議の確認をお願いします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>次回の開催についてご説明します。まず開催時期ですが、6月の月上旬、6月定例会の前あたりを予定しています。その際の予定の議題は、各作業部会の検討状況についてと、住民の方からいただいている要望とか提案等についてご説明したいと考えています。以上です。</p> |
| <p>会長</p> | <p>今日挙げた点は、聞き置くのではなく、工程管理と今話が出た高齢者をどうするか、それから区長が言った防災について。これも工程管理の中の一つである。 私は、通り抜け交通はやはり山根小学校界隈が危ないと思う。そのため、やはり住んでいる人も、今の時代だから森を大事にしようという気持ちはみんなにあることはあるが、このような危険な状況では道路を通してしまうという市民が結構多い。だいたい家庭訪問してヒアリングしてきた。だから、くどいけど通行禁止にして地元は通れるというのが一番早いですが、交通対策が早くできれば、このスケジュールも早く間に合っていくと私は思う。 それと、やはり次は、どのように利用していくかという絵を描くことが一番大変な分野だ。それがあると、住んでいる人にとって、この世界の「AIOIYAMA」という夢を若干繋げられるようになる。本当にできるならやろうかというように。いろんな意見があるので、大変だということはわかっている。</p> |
| <p>山田委員</p> | <p>素人なのでよくわかりませんが、通行を禁止するとその場所を通ろうとしていた車が元の道路に戻るのではないのでしょうか。そうすると、元の道路が流れなくなりますので、その兼ね合いのところが多分難しいのではないかと思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>あまり変わらない。古出来町も通行禁止になったが、その周りの道路が大渋滞したということは聞いていない。だから、そのようなこともあるから、丁寧に対策してもらおうということだと思う。 それでは、次回は6月上旬に開催することとして、各作業部会においては、今後も引き続き着実に検討を進めてほしい。 以上で、第8回検討会議を閉会する。ご苦労様でした。</p> |